



平成19年11月9日

各位

会社名 株式会社エフピコ
 代表者名 代表取締役社長 小松 安弘
 (コード番号 7947 東証・大証第一部)
 問合せ先 取締役経理財務本部長 瀧崎 俊男
 (TEL. 084-953-1145)

中間・通期業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成19年8月6日の第1四半期決算発表時に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の中間・通期における連結・個別業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 当期の中間業績予想数値の修正 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成19年8月6日)	62,900	3,740	3,850	2,160
今回修正予想(B)	62,769	2,945	3,209	2,071
増減額(B-A)	△131	△795	△641	△89
増減率(%)	△0.2	△21.3	△16.6	△4.1
前期(平成19年3月期中間)実績	62,780	4,084	4,343	2,229

1株当たり予想中間純利益 95円03銭

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (平成19年8月6日)	59,500	3,090	3,200	1,800
今回修正予想(B)	59,477	2,373	2,613	1,559
増減額(B-A)	△23	△717	△587	△241
増減率(%)	△0.0	△23.2	△18.3	△13.4
前期(平成19年3月期中間)実績	59,394	3,678	4,000	2,102

1株当たり予想中間純利益 71円56銭

2. 当期の通期業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年8月6日)	126,000	8,620	8,800	4,900
今回修正予想(B)	126,000	7,300	7,700	4,570
増減額(B-A)	—	△1,320	△1,100	△330
増減率(%)	—	△15.3	△12.5	△6.7
前期(平成19年3月期)実績	124,233	7,628	8,126	4,515

1株当たり予想当期純利益 210円25銭

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (平成19年8月6日)	118,500	7,220	7,400	4,230
今回修正予想(B)	120,000	6,390	6,700	3,760
増減額(B-A)	1,500	△830	△700	△470
増減率(%)	1.3	△11.5	△9.5	△11.1
前期(平成19年3月期)実績	117,768	6,880	7,356	4,204

1株当たり予想当期純利益 172円98銭

3. 修正の理由

修正の主因は、製品値上げの遅れ及び販売面での利益改善が8月6日の計画を下回っていること、将来に向けた素材切替、新製品投入に係る償却費等の増加によるものであります。

販売面におきましては、汎用トレー市場に投入した超軽量化ロースタックトレーFLBシリーズ及びAPET製品の販売が拡大しており、高付加価値製品である折箱タイプの新製品の引合いも順調であります。

しかしながら、原料価格の高騰が続き、当社グループとしては、8月1日出荷分からの製品値上げを発表いたしました。この製品価格への転嫁は、2ヵ月半程度の遅れながら、着実に進んでおります。

当社グループは、製品値上げと素材切替、薄肉・軽量化に対し、経営資源を最大限に投入し、下期以降へ繋がる企業活動に注力いたします。

製造面におきましては、素材切替アイテム数の拡大、新製品投入のスピードアップによる金型投資などにより、償却費等の固定費の増加が見込まれます。

これら状況を踏まえ、製品値上げの遅れなど販売面での利益改善が、上期5億円、下期6億円、通期11億円の計画未達、素材切替による利益改善が下期以降にズレ込むものの、投入アイテム数の拡大によりさらなる利益改善の増額を計画しており、上記のとおり修正いたします。

* 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上